

大学院 社会人選抜試験（前期） 小論文

第1問 下の問1または問2に答えなさい。

問1

健康の観念には医学的または自然科学的に定義できる面もあるが、歴史的あるいは文化的な要素を考慮しなければとらえにくい面もある。（ただし、ここでいう文化とは人間の考え方や感じ方、行動のしかたのパターンの総称である。）健康の観念は場所や時代によって変わりうるということである。現代人の健康観の特徴を述べ、それを踏まえて、栄養の専門家であるあなたが推奨する健康増進法を800字で説明しなさい。

問2

近年、機械学習の精度が飛躍的に向上し、人間にかわって生成AIが文章や楽曲や絵画を作成するようになった。このような状況を目の当たりにして、もはや哲学や芸術も人間に固有の営みではなくなったと主張する人さえいる。このような主張をあなたはどう評価するか。哲学や芸術という営みが人間にとってどのようなものであるかを考え、AIと人間の共生のありかたを800字で論じなさい。

大学院 社会人選抜試験（後期）小論文

問題文

身体イメージは時代によっても地域によっても特色があり多様である。たとえば西洋近代においては解剖学的な知見に基づく身体像が支配的になったが、中国をはじめとする東アジアでは今日でも機能的身体像とでも呼ぶべき考え方が見られる。経絡やツボなどはその現れである。西洋医学では疾患は臓器や神経や内分泌の異常と理解されるが、中国医学では体の性質や症状と強く関連づけられるので、たとえば同じ風邪でも人によっては異なる治療薬が処方されたりもする。身体イメージの違いはとうぜん健康観の違いにも反映する。西洋医学は健康を機械的にとらえる傾向があるが、東洋医学的な観点ではこれとは異なる健康観も可能になる、といった具合である。

現代医学は薬剤のみならず栄養素の体内動態を分子レベルで把握し、また画像診断技術や遺伝子治療などのテクノロジーを駆使するが、このような医療の科学技術化はわたしたちにどのような身体イメージをもたらし、どのような健康観を定着させるだろうか。またそのメリットやデメリットとしてどのようなことが考えられるだろうか。職業人としてのあなたの経験も踏まえ、考えられることをできるだけ具体的に 800 字程度で述べなさい。

第 1 問

問 1 下の英文の要旨を 100 字程度で説明しなさい。

Artificial intelligence, so-called generative AI in particular, does not think like human beings do. To be more specific, generative AI looks for a likely word to complete a given sentence among a lot of options found on the Internet. Mathematical probability is preferred to aesthetic taste when writing literary works. The algorithms that drive AIs are quite different from the logic on which our thinking is based.

問 2 下の英文の要旨を 100 字程度で説明しなさい。

Although the states of health, illness, death, and so on may be defined on the basis of scientific as well as medical knowledge, it is not appropriate to discuss issues involving health solely from the viewpoint of our present knowledge of medical science. The reason is that our notion of health has been formed by historical as well as cultural influences. For instance, a physical condition diagnosed as an illness might have been accepted as healthy a century ago.

第1問 下の問1または問2に答えなさい。

問1

西洋医学は解剖学的な身体像に基づく。たとえば心臓や肝臓や神経など身体をさまざまな部分に分け、その働きを診る。一方、東洋医学は機能的な身体像に立つ。五臓六腑や経絡（いわゆるツボ）という言葉があるが、これらは西洋医学の臓器や神経系には対応しておらず、むしろ身体作用に注目した考え方といえる。解剖学的な身体像と機能的な身体像は、パソコンでいえばOSの違いに相当する。相互に翻訳することはできず、1対1の対応関係はないが、それぞれは統合的なシステムである。このように性格を異にする身体像が存在することを踏まえ、健康や病気の状態をどのようにとらえればよいか考えなさい。また健康な生活を推進するためには、どのような点に気をつけるべきか。考えを400字で述べなさい。

問2

近年、機械学習の精度が飛躍的に向上し、人間にかわって生成AIが文章や楽曲や絵画を作成するようになった。このような状況を目の当たりにして、もはや哲学や芸術も人間に固有の営みではなくなったと主張する人さえいる。このような主張をあなたはどのように評価するか。哲学や芸術という営みが人間にとってどのようなものであるかを考え、AIと人間の共生のありかたを400字で述べなさい。